

震災をきっかけとした取り組み

経営学部教授 湊 信吾

震災後、電気や電話がつながるようになって、まず考えたことはゼミの学生の安否確認をすることであった。16日から安否確認を始めると同時に、仙台にいる先生方と協力して安否確認の作業を分担して行おうという呼びかけがあった。仙台駅裏の事務所に集まり、石巻専修大学で、すでに印刷されてあった学籍原簿をもとに作業を分担して安否確認が進められた。ゼミの学生の多くは実家に帰っているものも多かった。中には三陸の実家に帰っているものもいて岩手県の避難所名簿に名前が記載されていることで安否を確認した学生もいた。その後、1年ほど経ってからその学生からメールで相談があり、お互い元気にやっていることを確認できてうれしかった。

安否確認が終わってからは今度は大学の現状を正しく学生や保護者に知ってもらいたかった。大学が開催した育友会や経営学部のゼミを通して大学の現状や授業の再開について報告できたことはよかったと思う。この機会を通して学生とも接することができ、学生の元気な様子を確認でき安心した。

大学が5月末から始まることがわかったので、学生たちにいつも通りの授業を行いたかった。そして震災後の何ともいえない鬱屈した気分を吹き飛ばすためにも、学生に興味をもってもらえるような授業をしたかった。そこで学生から希望の多かったゲームプログラミングをゼミの教材として取り入れることとして、ゲームをプレイしたり、プログラムを改造することによって、ゲーム作成に関わる複雑なプロセスを体験してもらった。また、3Dゲームで使われる3Dモデリングについても体験してもらい

たいと考え、テキスト通りにやれば必ずモデルを作れるように授業の準備を進めた。3DモデリングはBlenderというソフトウェアを使って行っていたが、かなり操作が複雑なためテキストを作成しつつ自分で試しながらテキストを完成させた。実際、Blenderの授業では学生が集中して授業に取り組んでいる様子がよくわかった。

ところで平成23年度から情報教育研究センター長を務めることになり、震災後各団体から被災地の大学のコンピュータシステムの状況について講演して欲しいという依頼があった。

まず6月23日に東京でのNUA学術情報システム研究会(NECユーザー会)で「東日本大震災による影響と課題」と題して発表を行った。6月29日の仙台でのTOPIC総会では東北の各大学における被災時のコンピュータネットワークの状況について発表が行われたが会場にて石巻専修大学の状況についても発表を求められた。専修大学のネットワーク情報学部の福富教授からの依頼により7月2日には生田の情報通信学会において第28回情報通信学会大会での基調シンポジウム「震災と情報通信」のパネリストとして参加した。NUAでの発表を聞いていた国立情報学研究所(NII)の曽根原教授より講演を依頼され、7月22日に東京NIIで開催されたICTSFC 学術情報サービス連携コンソーシアム講演会において「東日本大震災による情報システムの影響と課題と安否確認クラウドの提案」と題する発表を行った。以上の発表により地震および津波における被災地の大学のコンピュータシステムの状況について広く伝えることができたと思う。

1 大学の動き
(平成23年4月)

2 震災に関する
研究活動

3 大学施設の地域
催事への提供

4 震災の影響に関す
る全学調査結果

5 防災・減災のため
の備蓄品調査状況

6 震災に関する
取り組み
インターネットによる紹介

7 震災2年目における
委員会等の活動と
本学の対応

8 阪神・東海に学ぶ

9 学内に結成された
サークルの活動

この発表がもとで平成24年2月にNIIの曽根原教授が大学を訪れた。同行した株式会社エリアポータルから女川市の体育館におけるエリアワンセグ放送の活用例が示された。また平成24年3月には専修大学のネットワーク情報学部の高田教授と富士通のスタッフの方により専修大学におけるエリアワンセグ放送の取り組みについて紹介があった。これを機会に石巻専修大学で東北初のエリアワンセグ放送の申請の作業が始まることとなった。現在「いしのまきワンセグ」(図1)は学生が中心となって番組を制作している。また、ラジオ石巻の

協力により番組の制作を支援してもらっている。「いしのまきワンセグ」での活動を通して様々な人々とのつながりを育てていてもらいたいと思う。

震災後の取り組みを通じて印象に残ったことが一つある。それは平成23年の5月末にキャンパスに学生がもどってきてくれたことである。この時はうれしくて気持ち晴れ晴れとしたことを覚えている。当たり前のことのように思えるが、それが途絶えていた時期があったということを忘れてはならないように思う。

石巻専修大学

いしのまきワンセグ

東北初開局!!

見に来てまきー!

8月6日(月) 15時開始

開局イベント内容

- ・ラジオ・ワンセグ同時生放送開始
- ・専修大学生田スタジオと生中継
- ・関係者の生出演

場所: 石巻専修大学
学生会館2階 放送スタジオ

いしのまきワンセグを盛り上げよう!

いしのまきワンセグへの感想・リクエストもお待ちしております。皆でいしのまきワンセグを盛り上げようまき♪

いしのまきワンセグ視聴方法

①ワンセグ受信機(携帯電話・カーナビ)にワンセグT-Vを受信する

②ワンセグ受信機(携帯電話・カーナビ)にワンセグT-Vを受信する

③ワンセグ受信機(携帯電話・カーナビ)にワンセグT-Vを受信する

④ワンセグ受信機(携帯電話・カーナビ)にワンセグT-Vを受信する

①石巻専修大学キャンパスにて映像と音声を持ち帰り、カーナビのワンセグT-Vで受信する

1) アンテナを伸ばしてワンセグを起動

2) エリアが宮城県(仙台)に合っているか確認

3) 「2」ボタンを押して「NHK教育」を表示

4) 左ボタンを押してチャンネルをスキャン

5) 31chで「いしのまきワンセグ」を受信

②音声のみを「ラジオ石巻」で聴取する

ラジオ受信機で76.4MHzにあわせ「ラジオ石巻」を受信

あるいはインターネットの「サイマルラジオ」からストリーミング生放送を受信

サイマル放送web: <http://www.comradio.jp/>
<http://www.stmradio.jp/arc/fadradio.html>

サッシュ・スキャンの放送は機種によって違うことがあります。受信可能チャンネルから右または左ボタンで31chにあわせてください

主催: 石巻専修大学
協力: ラジオ石巻 専修大学放送プロジェクト「かわききFM」 かわききFM 富士通株式会社
放送に関する、ご意見・ご要望はご自身のアドレスよりお寄せください。 石巻専修大学(漢字ミナール・益馬ミナール・例井ミナール)
mail: 11seg@stnshu-u.ac.jp
※石巻専修大学放送センター(2010年4月)開局(本学館より地域放送を始めたワンセグ放送開始プログラム)の一角になります。

図1 いしのまきワンセグ開局のお知らせ

73